

慶應ノンプロフィットリーダーズ・プログラム

Keio Leaders Program for Nonprofit Management (KEIO LEAP for Nonprofit) について

慶應義塾大学では、NPOの先導的人材を対象とする育成プログラム
“KEIO LEAP for Nonprofit” のパイロットプログラムを、2025年9月より開始いたします。

2025年5月29日



慶應義塾大学

背景とねらい

- 日本や世界が直面する様々な社会課題の解決に向け、NPOやNGOを始めとするソーシャルセクターの重要性が高まっています。
- 日本のNPOは長い歴史を有し、社会に重要性を示した阪神・淡路大震災からも30年経ちます。この間、日本の民間非営利組織も増加傾向にあり、約5万法人のNPO法人、約1万法人の公益財団・社団法人、約10万の一般財団・社団法人が国内に存在しています。
- 一方で、これらの組織が社会でその力を発揮するためには未だ課題が多く、特に広い視野で高いマネジメントスキルを持つ先導的人材の育成・強化が必要です。また、政府や企業などの理解や取組の深化や、クロスセクターでの連携も求められてきています。
- 本プログラムは、大学院レベルの教育実績等を活用し、先導的人材のマネジメントスキル向上に資する育成プログラムにより、個々の組織力を高めるとともに、ソーシャルセクター全体の飛躍を目指します。

プログラムの特徴

□ 大学院レベルの教育実績等の活用と実務家の知見を融合したサーティフィケート・プログラム

慶應義塾大学の研究者をはじめとして、企業経営や非営利組織に関して理論的なバックグラウンドを持つ研究者が参画し、大学院レベルの教育実績等を活用するとともに、NPO等の経営実績を持つ実務家の知見を融合したサーティフィケート・プログラムを提供します。

□ 米国のNPOや教育機関との連携

米国のNPOや大学等の教育機関と連携したフィールドトリップに参加できます。また、実績豊富な米国の研究者を招いた授業や、国内外のNPOとの相互交流も予定しています。

□ クロスセクター連携の推進

企業のCSR担当者、行政の協働担当者、中間支援組織の職員など、多様な受講者を受け入れることで、産官学民を行き交うクロスセクターの知見・人材・組織の交流を促進するプラットフォームを構築し、社会変革を実現するエコシステムを実現・強化することを目指します。

プログラム・ゴール

本プログラム修了生の一人ひとりが、マネジメントスキルの向上を通じて自らの組織を飛躍させられるようになるとともに、組織やセクターを越えて社会変革を実現するクロスセクターのプラットフォームに参画し、日本のソーシャルセクター全体の先導的人材として活躍すること

対象となる人物像

- ・ 組織基盤や財務基盤を強化し、事業や活動を次のステップに発展させたい（LEAPしたい）
NPO等の非営利組織のマネジメント層
- ・ ソーシャルセクターとの連携を深化・強化したい企業や自治体、中間支援組織の担当者など

第0期 パイロットプログラムについて

□ パイロットプログラムの位置づけ

2026年度以降のフルプログラム開講に向けて、プログラムおよびコミュニティの共創に参加する「初期メンバー」を募集します。具体的には下記のような積極的参加を歓迎します。

例) カリキュラムや授業へのフィードバックと研究開発、ケース教材の制作協力、クロスセクターのコミュニティ形成など

□ フルプログラムとの違い

2026年春から1年間のフルプログラム（募集人数40名）を開講予定です。

フルプログラムの内容や受講料等は、パイロットプログラムとは異なります。

※非営利組織ならびに地方公共団体に属する方は、受講料減額を予定

第0期 カリキュラム 第一線で活躍する数多くの魅力的な研究者・実務者が担当

金曜 18:00-20:00 (予定)		土曜 10:00-12:00 (予定)	土曜 13:00-15:00 (予定)
モジュール01：非営利セクターの役割を知る			
第1週 非営利セクターの理解	日本の非営利セクターと市民社会	変動する社会における公共政策	社会的使命と目標達成のプロセス
モジュール02：社会的価値の創造に向けて			
第2週 社会課題解決の方法	社会的正義と社会運動	日本のNPOの法制度	クロスセクター協働とパートナーシップ
モジュール03：プロジェクトと事業の基盤を創る			
第3週 持続可能な事業と財務のデザイン	サービスデザイン	ソーシャルファイナンス	※プロジェクト・ベースド・ラーニング
第4週 財務基盤の強化	社会課題の理解1： ヒューマンサービスと教育	ソーシャルマーケティング	資金調達
モジュール04：組織基盤を強化する			
第5週 外部評価	社会課題の理解2： 環境と災害	フィランソロピーとCSR・CSV	※プロジェクト・ベースド・ラーニング
第6週 組織マネジメント	社会課題の理解3： 人権と社会的包摂	NPOリーダーシップ	NPOの組織デザイン
モジュール05：社会との関係を構築する			
第7週 社会的インパクトのデザイン	社会課題の理解4： 国際協力とグローバルヘルス	社会イノベーションとコレクティブ・インパクト	アドボカシーとロビイング
第8週 協働関係の構築	社会課題の理解5： 地域社会とソーシャルキャピタル	コミュニティ・オーガナイズング	市民社会のための中間支援
モジュール06：社会的理解を獲得する			
第9週 リサーチスキル	リサーチデザインの方法	レポートとプレゼンテーションの技法	※プロジェクト・ベースド・ラーニング
第10週 最終プレゼンテーション	リスク・コミュニケーションと危機管理	※プロジェクト・ベースド・ラーニング (最終プレゼンテーション)	※プロジェクト・ベースド・ラーニング (最終プレゼンテーション)

- ・ 社会的役割
- ・ 歴史と理論
- ・ 財務会計
- ・ 資金調達
- ・ インパクト評価
- ・ 人的資本管理
- ・ リーダーシップ
- ・ サービスデザイン
- ・ 政策提言
- ・ リサーチスキル

など、理解と実務の必須分野をカバー

注：上記科目の構成や配置は変更となる場合があります。

プログラム・スケジュール（第0期 パイロットプログラム版）

- 講義数 全30回（3コマ×10週）+プロジェクト・ベースド・ラーニング（期間中適宜）

- ### □ 開講時期

2025年9月26日～2026年2月7日（隔週）

- ### □ 開講日・時間（予定）

金曜 18:00-20:00

土曜 10:00-12:00、13:00-15:00

- ## □ 開講場所

慶應義塾大学三田キャンパス北別館5F

※金曜はオンライン受講も可能

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026年 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

慶應義塾大学 三田キャンパス北別館

住所 東京都港区三田一丁目4番65号

「東京メトロ南北線 麻布十番駅から徒歩8分」

└都営大江戸線 赤羽橋駅から徒歩8分

↳都営三田線三田駅、JR田町駅から徒歩17分



プログラムの主な対象者

- NPO等の非営利組織のマネジメント層（または事業承継候補者）
- 企業のSDGs、CSR等、社会的価値創出・連携を担う担当者
- 行政の関連業務担当者
- 中間支援組織の担当者

修了要件およびサートیفিকেート授与（第0期 パイロットプログラム版）

- 30コマ中24コマ（8割）以上の参加
- ファイナルプレゼンテーションへの参加

上記修了要件を満たすことでパイロットプログラム版サートیفিকেートを授与します。

※次年度以降のフルプログラムへの追加参加により、正規サートیفিকেートの取得も可能

募集要項（第0期パイロットプログラム版）

□ 募集人数

20人程度（プログラム初期メンバーとして）

□ 選考方法

書類審査

※所定の受講申込書をメールでご提出下さい。

□ スケジュール

受講申込期限 6月23日（月）

結果通知 7月7日（月）頃予定

プログラム開始 9月26日（金）

□ パイロットプログラムの受講料（全30回：プロジェクト・ベースド・ラーニングなど込）

非営利組織ならびに地方公共団体に属する方は、79,000円（税込）

その他、企業・団体に属する方は、99,000円（税込）

※カリキュラムへのフィードバック等、カリキュラム開発へのご協力をお願いいたします。

詳細ならびに受講申込書について

それぞれをクリックしてダウンロードしてください

- [詳細](#)（このファイルが開きます）
- [受講申込書](#)（クリック後、左上の「ファイル」から「ダウンロード」＞「Microsoft Word (.docx)」を選択）

お問い合わせ先

- KEIO LEAP for Nonprofit 担当
- メールアドレス：k leap-group@keio.jp

スポンサー

本プログラムは、米日財団（United States-Japan Foundation）の支援により実施します。

□ 米日財団について

米日財団は、二国間関係の強化と共通の課題への対処に取り組む独立した慈善団体です。私たちは、次世代のリーダーを支援し、革新的なイニシアチブに助成金を提供し、解決策を模索する関係者間の協力と交流を促進します。

設立年：1980年

理事長：ローレンス・K・フィッシュ

副理事長：伊藤公平

<https://us-jf.org/ja/>

